



議長 日景比内

明けましておめでとうございます。

市議会を代表いたしまして、謹んで新年のお喜びを申し上げます。

昨年は、企業倒産やリストラなど雇用問題が深刻化する中で、菱山製薬(株)等の新規立地企業が操業を開始し多数の新規雇用が確保されたことは、まことに心強い限りでした。また、環境問題が地球規模で進行している中、大館市環境基本計画が策定され、全市挙げての取り組みが具体的に始まったほか、中高一貫教育校の建設地の決定や市立総合病院増改築事業の基本設計策定に着手するなど、重要施策が具体化された年でした。今年も新規立地企業による雇用が期待されるとともに、国体関連施設、東バイパスや日本海沿岸東北自動車道などの基盤整備も本格化するなど、雇用や景気対策に資するものと期待しているところです。

地方自治体を取り巻く環境は、長引く景気低迷、経済社会構造の急激な変化の影響を受けて、依然として大変厳しい状況にあります。本市においても引き続き厳しい行財政運営を強いられるものと予想されますが、景気対策、雇用対策、環境問題、少子・高齢化対策など山積する重要課題に対応するとともに、市民生活に関連する多様なニーズにこたえるため、市議会といたしましても、執行機関と一丸となって、課題解決のため全力を挙げて努力していきます。

今、地方分権が進展する中、地方自治体には自立の受け皿としての体制整備のため、市町村合併を始めとする様々な努力が求められています。市議会においても2市3町（大館市、鹿角市、比内町、田代町、小坂町）の正・副議長による懇談会を持ち、合併について意見交換を行っています。また、さきの12月定例会では北鹿2市3町の市町村合併に向けた任意協議会の設立に関する決議案が可決されたところです。今後、合併についての議論が活発化することが予想されますが、将来のまちづくりのため、市民の皆様とともに議論を深めていきたいと考えています。

今後ともより一層のご支援を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様のご健勝とご多幸を心からご祈念いたしまして、ごあいさついたします。

おめでとうございます。